



車いすカーリング



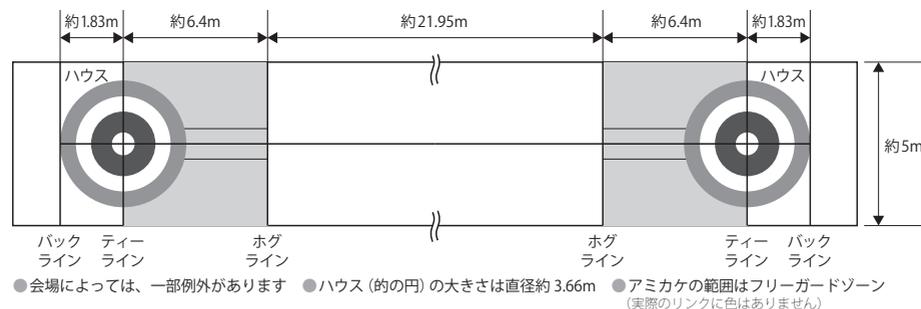
車いすカーリングは、世界カーリング連盟(WCF)の規則に準じて競技が行われますが、障がい特性を考慮して一部規則を変更しています。出場する選手は切断や脊髄損傷など下肢に障がいがあり、IPCに認定されることが必要です。

● 試合概要

- ・1チーム男女混合の4人。1試合は8エンド(1エンドは1チーム4人×2ストーン)です。
- ・ストーンのリリースは手またはキューを使い、リリース動作で動かないよう味方選手が後方から車いすを押さえることが認められています。
- ・スウィーピング(氷をこする動作)は行いません。

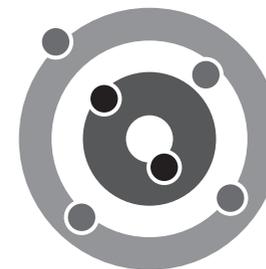
◎ カーリングリンク

※オリンピックと同じリンクを使用します。



◎ 各エンドの勝敗/得点

1エンド終了時、ハウスの中心に最も近いストーンを投げたチームがそのエンドの勝者となります。ハウスの中心に最も近い敗者のストーンより内側にある勝者のストーンの数、得点として勝者に与えられます。



- Aチーム
- Bチーム

[例]
Aチームのストーンの方がBチームのストーンよりもハウスの中心にあるので、Aチームの勝利。得点は、2点となります。

◎ フリーガードゾーンルール

各チームの「リード」がリリースしたストーンのうち、フリーガードゾーン内で停止したストーンを、他チームのリードに限りそのストーンを直接または間接的にゾーン外にはじき出すことを禁止したルールです。各チームのリードは、このルールを利用してフリーガードゾーン内にあえてストーンを置き、相手チームに有利な投球コースを封じるなどの作戦を立てます。

◎ ポジションごとの役割

リード

チームの中で最初にストーンを投げます。リードには「フリーガードゾーンルール」(上記参照)があるため、相手のストーンをハウスに入れさせない作戦で、ハウス手前付近を狙うことがあります。

セカンド

チームで2番目にストーンを投げ、相手のストーンをはじいたり、ハウス内にストーンを止める投球(ドロウ)を狙います。リード、セカンドには女性メンバーを配置するチームが多い傾向があります。

サード

相手のストーンを止めるガードや、相手のストーンをはじき出すなど状況に応じた投球が求められます。また、スキップがリリースする時は、バイスキップとしてハウス付近に移動して指示を出す役割もあります。

スキップ

チームの司令塔として作戦を立て、ハウスから指示を出します。リリース順は一番最後で、勝敗を決める1投を放つ重要な役割を狙います。

1エンド内の投球順

	先攻チーム	後攻チーム
リード	①	②
	③	④
セカンド	⑤	⑥
	⑦	⑧
サード	⑨	⑩
	⑪	⑫
スキップ	⑬	⑭
	⑮	⑯

競技紹介

車いすカーリング

投球方法

車いすカーリングの投球は一般のような助走をせず、静止した状態でストーンを投げます。



A ● ストーンの速さをチェック

カーリングでは氷の状態を知ることが勝利への近道。“アイスリーディング”（氷を読む）という言葉もあるほど重要なのです。そこで、ストーンの滑るスピードを計り、氷の状態を把握しています。



B ● 車いすを固定

使用する車いすは日常生活用で、リリースの際は後方から押さえていないと動いてしまいます。スウィーピングがないとはいえ、投球しない選手もサポートに回るなど、全員で戦うことが求められます。

用具紹介

車いすカーリング

キューとストーン

車いすに乗っていても投球ができるよう開発された専用のキュー。ストーンは一般のカーリングと同じものを使います。



キュー



ストーン



ストーンの取っ手部分にはまり、投球を可能にします。カナダなどカーリングが盛んな国において、低い投球姿勢をとることが難しい高齢者などがこのキューを使ってカーリングを楽しむこともあります。

● 作戦を組み立てる司令塔「スキップ」

車いすカーリングは戦略や駆け引きを駆使した頭脳戦。そんな戦いにおいて、チームの作戦を組み立てる司令塔を任せられ、さらにチームの最後に投球する大役も担うのが「スキップ」です。プレッシャーがかかる役割ですが、スキップの活躍がチームの勝敗に直結すると言っても過言ではありません。



スキップは身振り手振りを交えてチームメイトへ投球の指示を出します